

ご 挨拶

中国政法大学副学長
張 保 生

尊敬する西原春夫先生，王牧先生，専門家の皆様，学生の皆様：

ちょうど中日平和友好条約締結30周年（10月23日）のときに，第2回中日犯罪学学術討論会が当校で盛大に開かれることになりましたが，中国政法大学の教員と学生を代表するとともに，私個人といたしましても，討論会の開幕を心からお祝い申し上げたいと思います。

中日両国は一衣帯水を隔てて位置し，長い歴史の文化的連携を持っています。古代日本は中国文化の影響を受けましたが，近代において中国は，多くの面で日本文化の影響を受けるとともに，日本によって西洋の人文思想を学んできました。中日両国間の文化的連携は，互いに理解し，感動し，補充しあう関係です。第2回中日犯罪学学術討論会は，中日文化，特に中日法律文化という川の中の新しい水滴のようであると思います。それは，中日法律文化及び犯罪学学術の交流の歴史に残るに違いないと信じています。

両国間における歴史と地縁の連関により，中日両国の文化には似ているところが多くあり，また法律違反と犯罪の原因と状況にも類似点が多くあります。両国の学者が中日両国の交通犯罪および犯罪学理論について情報を交換し，共同研究・比較研究を行うことは，非常に重要な意義があると思います。今回の中日犯罪学学術討論会は，中日両国における犯罪学の研究の繁栄を一層促進し，重要な社会的価値を生じさせるものであると信じます。

今回の討論会の開催期間中に，中国政法大学名誉教授の西原春夫先生と中国政法大学客員教授の石川正興先生は，すばらしい学術講演をなさることになりました。私は，当校の教員と学生を代表し，西原先生と石川先生に感謝

の意を表したいと思います。実り多い講演会をお祝い申し上げます。

中国政法大学は法学を中心に、哲学・経済学・文学・理学なども持っている学際的な研究大学であり、国家教育部に直接に所属し、法学院・民商経済法学院・国際法学院・刑事司法学院をはじめとする19の教学機構と、訴訟法学研究院・法律史学研究院など10の研究機構を持っています。大学では、現在、22の国と地区における78の大学と交流関係を持っています。特に、中国政法大学は、中国で最も早く犯罪学課程を設置した大学の一つです。犯罪学研究所・青少年犯罪研究所が設けられ、犯罪学の教育・研究のメンバーもそろっています。かなり以前から、中国政法大学は、犯罪学の研究と教育の面で中国において重要な地位に立っています。今回の中日犯罪学学術討論会は、中国政法大学の犯罪学の教育と研究を強力に促進するに違いないと思います。又、我々は中国政法大学をバルコニーとして、今後とも更に犯罪学およびその他学科の学術活動を深めることを期待しています。

錦秋の10月は、紅葉が一番きれいで、北京の最も美しい季節です。この最も美しい季節に、皆様が気持ちよくお過ごしになり、また討論会が成功裏に終わりますことをお祈り申し上げます。